

# オスグマの合流、始めました。



コテツ×トッキー



コテツ×ベクト



タカオ×トッキー



タカオ×ベクト

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ  
クマ牧場通信  
79号

2024年  
1月1日

発行

のぼりべつ  
クマ牧場  
動物課

野生のクマは、子連れのみを除外して基本的に単独で暮らしていますが、のぼりべつクマ牧場では複数頭で同居する集団飼育を行っています。複数頭で生活することによって、クマ同士で匂いを嗅ぎあつたり、レスリングや追いかけっこなどのコミュニケーションがみられます。

この冬には、今後の第一牧場の展示を目指して「コテツ・タカオ」組と「ベクト・トッキー」組を1つの群れにするための合流を行いました。合流にあたっては、個体同士の相性が合わない場合や、空腹状態でイライラしている時などは激しい闘争をしてしまう恐れがあるので、まずは1対1で顔合わせをしていきます。

初めはタカオとベクトで顔合わせを行いました。両者ともお互いを意識しており、すぐに鼻先を合わせて挨拶を交わしていました。特にタカオの方がベクトの後を追いかけて、良い反応でした。続いてタカオとトッキーの顔合わせですが、こちらも良好な反応で、タカオがトッキーの後を追う様子が見られました。次にコテツとベクトの顔合わせを行いました。ベクトの方がコテツを意識しているようで、ベクトが積極的にコテツをレスリ

## きょうのくまさん



ノンノ(1)

去年は子グマ牧場にいた、年が明けて1才になったノンノです。とても好奇心が強く、何でもすぐに試してから色々なことを学ぶタイプです。またエンリッチメントで与えている浮き玉の扱いもプロ級です。他のクマは地道に転がしながら中に入っているエサを取り出すなか、ノンノだけは仰向けになり四肢で持ち上げて、自分の体の上に餌が全て落ちてくるように器用に揺らします。現在は、クマのアスレチックへのデビューに向けてトレーニングを頑張っていますので、デビューの日を楽しみにお待ちいただけたら幸いです。

ングに誘っていました。最後のコテツとトッキーの顔合わせも、2頭仲良くレスリングしていました。年齢が近いということもあってか4頭共良好な関係で、合流もスムーズに進めることができました。いつの日か第一牧場に出てくることを楽しみにお待ちしております。

### シマリス飼育スペース改装

去年の11月末に、『リスの杜』のシマリス「チャイ」の飼育スペースをリニューアルしました！

シマリスを飼育する他施設の方からも情報をいただきながら、シマリスの冬の過ごし方や必要な環境について検討を重ね、北海道の厳しい冬を越せるよう保温性の高い素材を使用したり保温器具を設置したりしました。また、シマリスは樹上から地上へと行動範囲が広い動物なので、飼育スペースを以前の2倍に拡張し、登れる枝もたくさん設置しました。



新ケージ内で餌を食べる  
チャイ=12月9日

### 今月の一旬

冬の朝

急上昇の

クマ密度



新たな飼育スペースに入ってからチャイの様子はというと、警戒する事はほとんどなく、今までと変わらずに活発に遊ぶ姿がみられたり、室内が暖かくなったので食欲や体重が以前より増加がみられています。ケージの側面には透明の亚克力板を使用しており、さらに観察しやすくなったと思います。リスの杜にお越しの際は、チャイが楽しそうに過ごしている姿をぜひ見に来てください！



リスの杜、シマリス新ケージの外観  
=12月9日

### ハル、第二牧場復帰!!

エゾヒグマの「ハル」が第二牧場に復帰しました！

昨年は、クマのアスレチックのデビューに向けてトレーニングを行っていましたが、諸事情により再び第二牧場の若い個体の群れに戻ってきました。元々同居していた同世代の群れに合流する形となりましたが、いきなり群れに合わせるとうまくいかず、柵越しのお見合いからスタートしました。

お見合いの後、一性格格が穏やかな「ツクシ」と顔合わせしました。最初はお互い一定の距離を保っていましたでしたが、しばらくすると慣れてきたのか近づき始めました。ツクシと同居後は、ツクシが仲介役になってくれたようで、他の個体ともスムーズに合流できました。第二牧場を訪れた際は、ぜひハルを探してみてください！



第二牧場で元気にアピールする  
ハル=12月23日

Q なぜクマには毛が生えているのか？

○ペンネーム 匿名希望

A 動物の体毛には、体温を保つことと、体の保護、また感覚器官(触覚)としての役割があります。ヒグマは寒い地域で生活しているため、特に体温維持は重要です。

クマの冬毛は、密集した毛の間に空気をこめて熱を逃さないようにしています。また、ヒグマよりもっと寒い地域に住むホッキョクグマは、毛の内部が空洞になっているので、空気層をつくって体温を逃がさないようにしています。そのおかげで、寒い冬でも外で遊んだりすることができるようなんです。

また、クマの冬毛はふわふわしていますが、夏になると冬毛が抜けてとてもスリムになります。冬と夏では見た目がとても変わります。クマたちも季節により衣替えをしているんですね。



夏毛のフク(上)と冬毛のピリカ(下) =6月・12月

